

# 薬物依存症について

---

10335 村上 大岳

# なぜ薬物依存症は問題なのか

---

薬物依存症は、個人の健康問題だけでなく  
家族・学校・社会全体に深刻な影響を与えます。

- 医療費や社会保障の負担増
- 犯罪や治安の悪化
- 家族の崩壊や児童虐待につながる

## 若者と薬物

---

- 初めて薬物を使用する年齢が低下傾向
- インターネットやSNSでの情報拡散により身近に感じやすい
- 「依存症になるのは一部の人だけ」という誤解がある

若いうちに薬物を使うと、脳の発達が妨げられ、将来に大きな悪影響を及ぼします。

# 薬物依存がもたらす社会的問題

---

- 学校や職場での生産性の低下
- 交通事故や暴力事件の増加
- 刑務所の収容者の多くが薬物関連事件

薬物問題は「一人の問題」ではなく、  
社会全体で取り組むべき課題です。

# 薬物依存と家族

---

- 家族が本人を支えきれず、共倒れになることがある
  - 嘘や借金、暴力などで家庭崩壊の危機
  - 家族自身も精神的に追い詰められる
- 家族支援の仕組みも非常に重要。

# 予防教育の大切さ

---

- 子どもの頃から「断る勇気」を育てる
- 薬物に関する正しい知識を身につける
- 学校・家庭・地域で連携した啓発活動

「やらない理由」を持つことが、最大の予防になります。

# 回復した人たちの声

---

依存症から回復した人はこう語ります：

- 「最初は軽い気持ちで始めた」
- 「やめたいのにやめられなかった」
- 「回復できたのは仲間や支援のおかげ」

→ 依存症は「終わり」ではなく、**回復のスタート地点**に立てる病気です。

# 回復を支える社会

---

- 医療機関や回復施設の整備
- 就労支援や居場所づくり
- 偏見や差別をなくすこと

薬物依存症から立ち直った人が、社会で再び活躍できる環境づくりが大切です。



# 違法薬物とは



違法薬物とは、法律によって所持・使用・売買が禁止されている薬物のことです。健康や社会生活に深刻な悪影響を及ぼすため、厳しく規制されています。使用すると**身体的・精神的な依存**を引き起こし、犯罪や事故の原因となることもあります。

# 違法薬物の代表例

---

- 覚醒剤
- 大麻
- コカイン
- MDMA（エクスタシー）
- ヘロイン

これらの薬物は、短期間で強い快感や興奮をもたらしますが、  
長期的には健康を損ない、依存症や精神障害を引き起こす危険性があります。

# 違法薬物を使用するとどうなるのか

---

- 脳や身体に深刻なダメージ
- 依存症に陥りやすい
- 幻覚や妄想、うつ症状などの精神障害
- 仕事や学業、人間関係が崩れる
- 犯罪や事故のリスクが高まる

# 違法薬物を使用してしまいうきかけ

---

- 友人や知人からの誘い
- ストレスや悩みからの逃避
- 好奇心
- インターネットやSNSでの情報拡散

薬物の危険性を正しく理解し、安易に手を出さないことが重要です。

# 違法薬物の入手経路

---

SNSやアプリを通じて違法薬物が売買されることがあります。  
警察もSNSやアプリ上で監視を強化しています。



- SNS（Instagram、Xなど）の投稿
- 匿名性の高いメッセージアプリ（Telegram、Signal、Simplexなど）

# 違法薬物依存症の症状

---

- 薬物をやめたいと思ってもやめられない
- 薬物がないと不安やイライラを感じる
- 日常生活や人間関係に支障が出る
- 嘘をついたり、隠れて薬物を使うようになる

依存症は「意思の弱さ」ではなく、**脳の病気**です。  
専門的な治療や支援が必要となります。

# 依存症から回復するためには

---

- 家族や友人、専門機関に相談する
- 医療機関で治療を受ける
- 自助グループ（ダルクなど）に参加する
- 薬物の誘惑から距離を置く

一人で悩まず、周囲のサポートを受けることが大切です。

# 相談・支援窓口

---

- 保健所や精神保健福祉センター
- ダルク（薬物依存症回復支援団体）
- 薬物乱用防止相談窓口（厚生労働省）

困ったときは、早めに相談をする！。警察には通報されない  
薬物依存症は、必ず回復できる！。



## まとめ

---

薬物依存症は「健康問題」であると同時に「社会問題」でもあります。

予防・治療・回復支援を三本柱に、

一人ひとりが正しい理解を持ち、社会全体で取り組む必要があります。

正しい知識を持ち、薬物に頼らない生活を心がけることが大切。

自分や周囲の人が困っていたら、すぐに相談・支援を受けるべき。

